

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和3年3月17日

| | | | | | |
|------|-------------------|-----|------|-----------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人共友会 | 代表者 | 岩尾 貢 | 法人・事業所の特徴 | 事業所はのどかな農村地区にあり、交通の便に不自由を感じている地域住民も多い。そのため「集う場所」「相談出来る場所」として、月1回「ミヤノ屋」「法話」の日を開催している。「ミヤノ屋」はおでんの日として住民も一緒に食事を楽しみ、地域住民からも「同じ町内だけどなかなか会えない人とも会うことができるとても楽しみにしている」と言う声が聞かれ、地域の方の出場所、居場所として拠点になっている。これまでの集客型ではなく、限界集落を含めた在宅支援として「訪問」中心に支えている利用者も多い。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム きんめい | 管理者 | 西 邦子 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 1人 | 1人 | 6人 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 | 3人 | 0人 | 15人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|--|--|--|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 異動や新規採用のスタッフも予想されるので、自己評価については再度スタッフに説明する | <ul style="list-style-type: none"> 自己評価の意味や評価の仕方についてはミーティングで伝え、評価の視点の資料を個別に渡した。 自己評価は自分を振り返るものであるため、事業所評価は今年度の自己を振り返りながら行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所全体で取り組み、スタッフはそれぞれが1年の振り返りができている。 改善計画はスタッフ間の情報共有に重点をおいているものが多く達成可能な計画になっている。 本人の今までの暮らしや人間関係の把握があまり出来ていないと感じているスタッフが多いが、そのような把握は難しいと思うが意識しながら支援してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 来年度の改善計画をスタッフが意識しやすいように日報にファイルする。 定期的にスタッフ会議にて改善計画について確認する。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | <ul style="list-style-type: none"> 浄化槽の臭いがした場合はすぐに業者に連絡し対応して頂く。特に大雨のあとは気をつける。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で訪問者の対応はテラスで行ったこともあり、浄化槽の臭いについては特に気にしていた。 浄化槽の業者が定期的に検査しており注意している。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であり事業所には殆ど行っていないが、苦情等の声は聴いていない | <ul style="list-style-type: none"> 今年度はコロナ禍の為地域住民が事業所に気軽に立ち寄ることが出来ず「しつらえ・環境」については特に意見はなかった。来年度の状況は不明だが地域住民の声に耳を傾ける。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の方にも事業所の取り組みを知って頂く為に、婦人会行事で事業所の紹介をさせて頂く。 地域の子ども達との行事(クリスマス会等)には学童保育に声 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は地域や事業所行事がなく、計画は実行出来なかった。 今年度は「ミヤノ屋(おでんの会)」や「法話」は開催できなかったが、以前から参加していた住民へフレイル予防や熱中症予 | <ul style="list-style-type: none"> スタッフの皆さんはきちんと挨拶してくれている。 「ミヤノ屋(おでんの会)」や「法話」がなかったので寂しかった。 行くところがなく人との会話も減ったように思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 状況次第だが今年度出来なかった婦人会行事での事業所の紹介や学童保育とのクリスマス会を行う。 コロナの状況が改善されず「ミヤノ屋」「法話」が開催出来ず、 |

| | | | | |
|-------------------------|--|--|--|---|
| | <p>かけを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児に参加してもらう行事は園まで法人のマイクロバスか車で迎えに行く。歩いてこられるときは農道を通らないようにお伝えする。 | <p>防のチラシを持って出向いた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・早く「ミヤノ屋（おでんの会）」や「法話」をしてほしい ・中には入れないけど、畑の作物を持っていった ・困ったことがあればすぐに相談に行こうと思っている | <p>又地域行事も再開出来なかった時にはこれまで以上に地域住民には挨拶の徹底を行う。</p> <p>又スタッフは地域住民を意識し気になる方についてはスタッフ全員に申し送り必要時はランチが訪問する。</p> |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフはミヤノ屋や法話に参加して頂いた方との交流を行い地域で心配な方がいないか把握する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・テラスに立ち寄る住民の方で見かけなくなった時は自宅に訪問した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍という事もあるが、工夫しながら外出したり地域の方に話を聞いたりできていると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域行事が殆ど中止になっていたので、利用者が住む地域の行事の再開には敏感になり、可能な限り参加する。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も事業所の取り組みや利用者様の様子を分かりやすくお伝えする。 ・金明地区元気はつらつ塾がスタートするので進捗状況をお伝えする。 ・地域で金明地区元気はつらつ塾の対象になりそうな方の情報をお聞きする。会議の場で言えない場合は会議終了後お聞きする。 ・会議の内容について参加者が興味のある内容にする為、会議の場で意見をいただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為対面での開催は行わなかった。地区会館等で開催することも考えたが、10人近い人数での開催は地域からも疑問の声があったため資料配布とした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は中止だったが、書面で活動は分かりやすく説明されていた。 ・書面ではわからない。 ・直接報告を聞いた方がわかりやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍の為運営推進会議は開催出来なかったが、来年度は状況次第だが運営推進会議は事業所以外(地区会館や町民会館)で行う |
| F. 事業所の防災・災害対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・AEDの設置してある場所を把握し、地図に印をする。 ・事業所の防災計画を提示する。 ・事業所の防災訓練の参加をお願いする。 ・地域の防災訓練（11月29日8時～宮地町）に参加する。 ・運営推進会議で地域の防災計画をお聞きする ・金明地区の地震、津波のハザードマップを用意する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練はコロナ禍の為に参加者を制限しての開催だったため参加していない。 ・ | <ul style="list-style-type: none"> ・日中1人なので災害時は頼りにしています。 ・ここは海拔が高いので水害の場合地区会館より安全や。 ・事業所の防災計画は知らない ・地域との繋がりが強い事業所なので災害時には頼りになると思う。 ・災害時頼りになると思うが、地域がきんめいに求めることを知らないといけない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間6回の運営推進会議のうち1回を防災・災害について考える会とし地域が事業所に求める事や事業所が地域に協力をお願いする事等の意見交換を行う。 |